

保健管理

センターだより No. 52 令和4年2月



鳥取大学 保健管理センター



目次

大人のワクチン接種	三島 香津子	1
アレルギー性鼻炎、花粉症の市販薬	岩下 香代子	5
InBody（インボディ）を使ってください	松原 典子	8
水分補給、冬こそ意識を！	平木 由布	9
ごあいさつ	妹尾 堇	11
新任挨拶	広富 由美	12
令和3年度学生健康診断結果について	松原典子・平木由布	13
令和3年度健康相談集計（学生・職員）	//	18
鳥取大学新型コロナウイルスワクチン職域接種について		
	三島 香津子	22
令和3年度学生教育研究災害傷害保険請求状況	平木由布・小川弘二	23
学研災・学研賠加入状況	//	24
掲示板		25

鳥取大学保健管理センター

この保健管理センターだよりは、ホームページにも掲載しています。

<http://www.tottori-u.ac.jp/2135.htm>



大人のワクチン接種

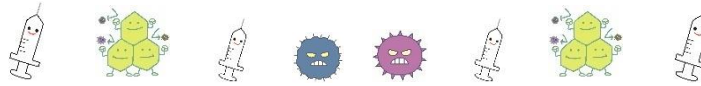
保健管理センター 医師 三島香津子



予防接種（ワクチン接種）は、主に次の3つの目的で行われます。

- ① 感染症の原因となるウイルスや細菌に感染することを防ぐ
- ② 感染し発症・重症化することを防ぐ
- ③ 社会で感染症が蔓延することを防ぐ

私たちは、生後まもなくから、国の定めたスケジュールに従って様々なワクチンを接種しています（定期接種ワクチン）。ほとんどが乳幼児～学童期に接種時期が定められていますが、青年期以降に接種の対象となるワクチンもあります。



1 定期接種、臨時接種、任意接種

予防接種には、予防接種法で定められた定期接種・臨時接種（原則無料、ただし、国が定めた年齢以外で受ける場合は有料）と、予防接種法に基づかない任意接種（原則有料）があります。海外渡航前に接種が求められるワクチンもあります。大人が接種する可能性のある代表的なワクチンについて、表1にまとめました。

表1 青年期以降に接種対象となるワクチン

	ワクチン	接種対象者
定期 接種	麻疹風疹混合（MR）ワクチン	1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性で、風疹抗体価が基準値以下のもの（抗体価が不明でも接種は可能）
	肺炎球菌ワクチン	65歳以上、5歳毎に対象
	インフルエンザワクチン	65歳以上、および、60～64歳で基礎疾患がある方など
	ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン	小学校6年生～高校1年相当の女子
臨時 接種	新型コロナワクチン	ファイザー製・モデルナ/武田製ワクチンは12歳以上、アストラゼネカ製ワクチンは42歳以上
任意 接種	髄膜炎菌ワクチン	2～55歳推奨
	带状疱疹ワクチン	
	MRワクチン、インフルエンザワクチンなど、定期接種の接種対象者に該当しない者が接種する場合は、任意接種に該当	

* 海外渡航前に接種が求められるワクチン（国や地域により異なる）：新型コロナウイルス、麻疹、風疹、百日咳、黄熱、破傷風、ポリオ、ジフテリア、狂犬病、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、髄膜炎菌など

今回は、表1のワクチンの中から、髄膜炎菌ワクチン、新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン、HPVワクチン、について説明します。

2 髄膜炎菌ワクチン

髄膜炎菌は、侵襲性髄膜炎菌感染症という重篤な感染症をひき起こします。発熱、頭痛、吐き気などで発症し、重篤な状態や死にいたる危険も高い疾患です。飛沫あるいは分泌物により人から人へ感染します。かかりやすい年代に、10代後半～20代前半が該当し、罹患するリスクの高い者としては、学校の寮などで集団生活を送る者、医療関連施設で働く者、大規模イベント等で髄膜炎菌流行地（サハラ以南アフリカ、欧州中東諸国など）からの参加者と接触する機会の高い者、髄膜炎菌流行地等海外へ渡航する者、などがあげられます。実際、日本国内でも、2011年には高校の寮内で集団感染が認められ、うち1名が死亡しています。2015年ボーイスカウト世界大会、2019年ラグビーW杯でも、海外からの参加者に感染者が認められました。ワクチンは1回接種です。特に、上記のリスクが高い者に該当する方は、接種を検討してください。

3 新型コロナワクチン

2019年12月以降、新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの日常は大きく変わりました。2021年12月現在、国内の感染状況は落ち着いており、その要因はまだ明確ではありませんが、ワクチン接種の効果が一因として考えられています。日本国内で使用可能な新型コロナワクチンは、ファイザー製、モデルナ/武田製、アストラゼネカ製、の3種類です。いずれも2回接種でしたが、接種後一定期間が過ぎると効果が減弱する可能性や、変異株への効果の低下などが指摘され、3回目の接種の機会を提供することが望ましいとされました。国内では、2021年12月から、3回目接種が開始されています。2回目からの接種間隔は8カ月とされていますが、今後短縮される可能性があります。

ワクチン接種がすすんでも、感染リスクはゼロではなく、感染予防対策の継続が必要です。“正しいマスクの着用” “外出後や食事前後の手洗い・手指消毒” “密集・密接・密閉いずれも避ける0密”等対策を徹底しましょう。日々の体調管理も忘れずに行いましょう。

4 インフルエンザワクチン

インフルエンザワクチンには、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。13歳以上では、1回接種を原則としています。インフルエンザは、ウイルスが毎年少しずつ変化するため、毎年ワクチンを接種する必要があります。日本では、12月～3月がインフルエンザの流行期です。そのため、ワクチンは、10月から遅くとも12月中には接種することが勧められています。

感染予防には、ワクチン接種とともに、飛沫感染等予防のための“正しいマスクの着用” “手洗い・手指消毒”等の基本的感染対策が重要です。

一般に、インフルエンザとは、季節性インフルエンザを指します。先に記載したように、インフルエンザウイルスは毎年小さな変化を繰り返しながら流行します。これが季節性インフルエンザです。しかし、インフルエンザウイルスは、時として大きな変化を引き起こすことがあり、多くの人々が免疫を持たないために急速に流行が拡大する可能性があります。これが、新型インフルエンザです。代表的な新型インフルエンザは、約 100 年前に世界中で大流行し多くの人々が亡くなったスペイン風邪です。新型コロナウイルス感染症も、いわゆる風邪のウイルスであるコロナウイルスが大きく変化したことで、パンデミックを引き起こしました。

5 HPV ワクチン

HPV は、女性の多くが一生涯に一度は感染するウイルスです。子宮頸がんの患者さんの 90%以上で HPV が確認されており、持続感染することで子宮頸がんになりやすくなると考えられています。子宮頸がんの原因の 50~70%とされるタイプの HPV の感染予防効果を、現在使用されているワクチンは持っています。ワクチンは 3 回接種します。

HPV ワクチンは、接種後に、広範な痛みや手足の動かしにくさなどの症状が出現した報告等から、国による積極的な勧奨（自治体から個別に接種を勧める文章や予診票などを送付すること）が差し控えられていました。しかし、安全性や有効性が副反応のリスクを明らかに上回る事等が確認され、2021 年 11 月、積極的勧奨の差し控えが終了しました。積極的勧奨が差し控えられていたために、接種の機会を逃してしまった方に対しては、2021 年 12 月現在、再度接種の機会が設けられるよう、国で検討が進められています。

子宮頸がんを苦しめないためには、HPV ワクチン接種とともに、20 歳になったら、子宮頸がん検診を 2 年に 1 度受けることが勧められています。



ワクチン接種を受けずに感染症に罹りその後治癒すると、身体はその病気に対する免疫を獲得します。しかし、重篤な後遺症が残る危険があります。また、他の人が感染してしまう、さらには感染が流行・蔓延して新型コロナウイルス感染症による現在の世界の状況のように、私たちの生活に多大な影響を及ぼします。保健管理センターでは、ワクチン接種の理解を深めるために、「マンガでわかる！大学生の VPD ブック」を、新入生全員と定期健康診断受健者に配布しています。その他のリーフレット等資料も保健管理センター施設内に用意しており、自由に持ち帰っていただくことが可能な物もあります。

「感染症の予防は、自分自身や周りの大切な人の健康のために、そして、日常生活や社会機能を維持するために、重要である」ことを、私たちは今まさに実感しています。毎日の暮らしの中で、健康管理、感染予防対策とともに、ワクチン接種で防げる病気はワクチン接種で防ぎましょう。



- 注1) ワクチン接種では、感染症を防ぐ免疫をつける作用とは別の反応～副反応～が起きる場合があります。接種部位の腫れや発熱といった比較的軽いものが殆どですが、ごく稀に、重いアレルギー症状（アナフィラキシー）や神経への影響等重篤な副反応を来す場合があります。ワクチン接種に対して不安や不明なことがあれば、医師に相談しましょう。厚生労働省HPにも詳しく記載してあります。重篤な副反応がおきた場合には、国により、届け出と救済制度が定められています。
- 注2) 本文の内容は、2021年12月16日時点のものです。特に新型コロナワクチンに関しては、感染状況等によって変更となる可能性がありますので、常に最新の情報を確認してください。
- 注3) VPD：Vaccine Preventable Disease ワクチンで防げる病気、のこと

【引用・参考文献等】

本文の内容は、以下を参考又は引用しています。

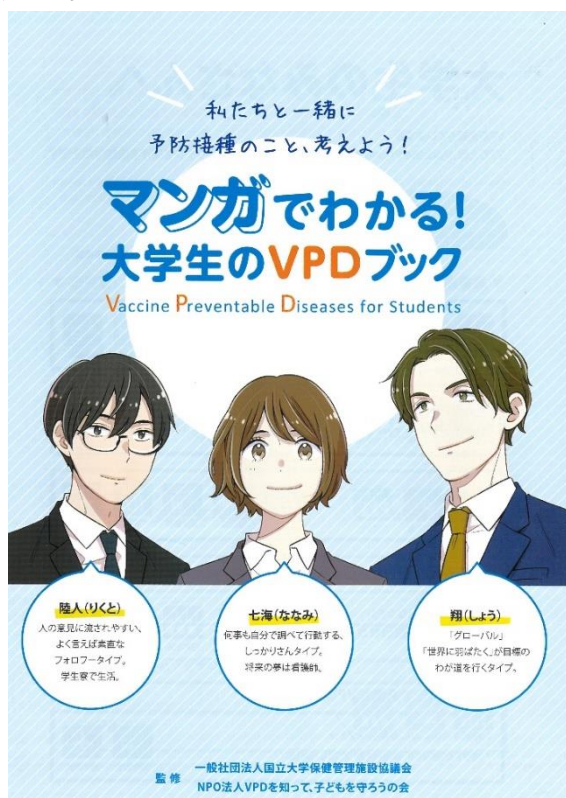
- *岡部信彦，多屋馨子（監修），2021 予防接種に関するQ&A 東京：一般社団法人日本ワクチン産業協会，2021
- *多屋馨子，COVID-19 パンデミック二年を振り返るー新型コロナワクチンによる予防の現状と今後の展望 日内会誌 110：2383-2391，2021
- *厚生労働省 HP 予防接種情報
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html（最終閲覧 2021年12月16日）
- *NPO 法人 VPD を知って、子供を守ろうの会 HP KNOW-VPD！
<https://www.know-vpd.jp/bnr/index.htm>（最終閲覧 2021年12月16日）
- *一般社団法人奥立大学保健管理施設協議会，NPO 法人 VPD を知って、子供を守ろうの会（監修），マンガでわかる！大学生の VPD ブック サノフィ株式会社，2020



みんなが正しくマスクを着用！



こまめな手洗いを忘れずに！



アレルギー性鼻炎、花粉症の市販薬

保健管理センター 医師 岩下香代子

アレルギー性鼻炎は過去 20 年で急増し、報告によっては国民の 49.2%、スギ花粉症は 38.8%の有病率とされています。

特に 10 歳代の若年層でスギ花粉症が急増しており、鳥取大学でも鼻炎、花粉症の学生さんはたくさんおられます。

症状は個人差があり、つらい鼻症状から集中力の低下をきたし学業・日常生活に支障をきたす人もいますが、健康診断時の印象では、軽症なので困った時だけ医療機関を受診するまたは、ほぼドラッグストアの市販薬で済ますという学生さんもかなりおられました。

アレルギー鼻炎の治療には、免疫療法や手術もありますが、一般的な初期治療は薬物治療です。いろいろな種類の薬がありますが、主流は抗ヒスタミン薬です。

第 1 世代と第 2 世代に分類され、第 1 世代は口渇、眠気の副作用が強く、こういった不快な副作用を軽減したのが第 2 世代抗ヒスタミン薬で現在 医療機関で処方されるのはほとんどこれです。

医療機関では、第 2 世代の抗ヒスタミン薬を処方する際は

- ① 主な症状が鼻閉型か鼻漏・くしゃみ型なのか
- ② 学生さんや車の運転を職業にされる方にはできるだけ眠気の少ない薬を
- ③ 内服の回数の希望は 1 日 1 回か 2 回か
- ④ 基礎疾患（腎障害、肝障害、緑内障等）があるかどうか
- ⑤ 第 1 選択の薬剤の効果が弱い場合には作用点の異なる他の抗ヒスタミン薬へ変更などを考慮しています。

ここでは、医療機関を受診する暇のない方、とりあえず鼻症状をしのぎたい方のために医療機関からの処方薬と同成分のドラッグストアで購入できる市販薬を調べてみました。私が調べたところ以下の薬が見つかりました。（医薬品名は先発医薬品のみでジェネリック医薬品は記載していません。）



コンタック 600 ファースト

ザジテン AL

処方箋医薬品名 ザジテン

（一般名 ケトチフェンフマル酸塩）

1983 年に発売され、歴史のある薬ですが、他の第 2 世代抗ヒスタミン薬と比べると眠気があり、現在 医療機関では処方数が少なくなっているかもしれません。



ストナリニガード

処方箋医薬品名 ニポラジン、ゼスラン
(一般名 メキタジン)



アレジオン 20

処方箋医薬品名 アレジオン
(一般名 エピナスチン塩酸塩)



エバステル AL

処方箋医薬品名 エバステル
(一般名 エバスチン)



コンタック鼻炎Z、ストナリニZ

処方箋医薬品名 ジルテック
(一般名 セチリジン塩酸塩)



タリオンAR

処方箋医薬品名 タリオン
(一般名 ベポタスチンベシル塩酸塩)



アレグラFX

処方箋医薬品名 アレグラ
(一般名 フェキソフェナジン塩酸塩)



クラリチンEX

処方箋医薬品名 クラリチン
(一般名 ロラタジン)

眠気に関しては、2020年9月の時点で一般名フェキソフェナジン、ロラタジン、デスロラタジン、ピラスチンが、その医薬品添付文書に服用中の運転など危険を伴う機会の操作等について注意事項の記載がありません(つまり 眠気が少ない)。

けれどもデスロラタジン、ピラスチンの市販薬は現時点ではありません。

したがって市販薬で眠気の少ない薬を探すなら **アレグラFX、クラリチンEX** となります。

また第2世代の抗ヒスタミン薬は、その化学構造からカルボキシル基型(エバスチン、セチリジン、ベポタスチン、フェキソフェナジンなど)とアミノ基型(メキタジン、

エピナスチン、ロラタジンなど)に分類され、作用点が異なり、どの薬剤が効果あるのかは個人差があります。

したがってエバステルAL、コンタック鼻炎Z、ストナリニZ、タリオンARやアレグラFXで効果が少なかったらストナリニガード、アレジオン、クラリチンEXを逆にストナリニガード、アレジオン、クラリチンEXで効果が少なかったらエバステルAL、コンタック鼻炎Z、ストナリニZ、タリオンARやアレグラFXを試してみると効果があるかもしれません。

第一世代の抗ヒスタミン剤(クロルフェニラミンマレイン酸塩)が含有された市販薬は、たくさんあるので紹介しきれません。先ほど紹介した医療機関からの処方薬と同成分である市販薬と紛らわしいものだけいくつか探してみました。



ストナリニガードはゼスラン、ニポラジンとストナリニZはジルテックと医療機関で処方される第2世代と同等ですが、ストナリニSは、第1世代のクロルフェニラミンマレイン酸塩が含有されています。



コンタック600ファーストはザジテン、コンタック鼻炎Zはジルテックと同等ですが、新コンタック600プラスはクロルフェニラミンマレイン酸塩に加えて鼻づまりを改善する成分プロイドエフェドリン塩酸塩、鼻炎に伴って起こる頭重感を改善する無水カフェインが入っています。

たくさんの薬剤がありますが、これらの薬はアレルギーを根治させるわけではなく、症状を抑えたい間はずっと継続して服用しないといけません。また鼻汁・くしゃみには早く効果が得られても、鼻閉には長く服用しないと効果が出ないことが多く、継続して服用するなら医療機関で処方受けたほうがコスト面は有利です。他の作用機序の異なる薬・治療法の選択肢もありますから、市販薬でもお困りなら医療機関での相談をすすめます。

アレルギー性鼻炎、花粉症は快適な日常生活には邪魔なものですが、きちんと対応すれば症状をコントロールできます。2022年 コロナはどうなっているのかわかりませんが、with コロナ、after コロナどちらにしても明るい春をすっきりした鼻で楽しみたいです。

【参考・引用】

- 1) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 123:196-204、2020
- 2) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 124:1144-1149、2021
- 3) アレルギー 69(9):883-892、2020
- 4) [医師たちがつくるオンライン医療事典MEDLEY\(メドレー\)](https://medley.life/) <https://medley.life/>

InBody (インボディ) を使ってください

米子分室看護師 松原典子

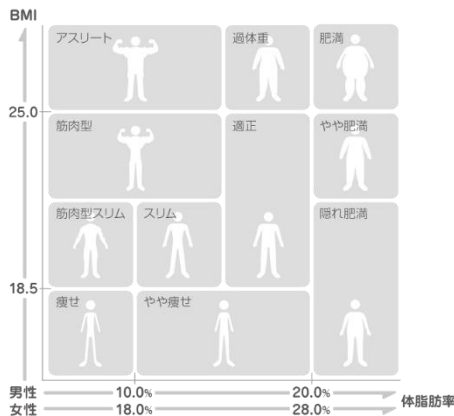
鳥取地区、米子地区の保健管理センター内に InBody (インボディ) という体成分分析装置があるのを知っていますか？



世界 110 ヶ国の医療施設や大学・企業の研究施設やスポーツクラブなど、臨床検査・臨床試験・栄養指導・健康指導のツールとして使用されています。InBody は、体を構成する基本成分である体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪を定量的に分析します。簡単に測定でき、体重や BMI だけに頼らず、筋肉の付き方や体脂肪の付き方、バランス、正しく健康を評価するツールとして注目されています。自分のカラダの「点数」知って健康増進に役立ててください。

使用方法が分からない方は保健管理センタースタッフに気軽に声をかけてくださいね。

興味のある方には、見た目だけでなく栄養が適正に摂れていて、健康的なカラダなのかどうかをフィードバックしますよ。



InBody

[InBody270]

ID	身長	年齢	性別	測定日時
Jane Doe	156.9cm	51	女性	2021.05.04. 09:46

体成分分析 Body Composition Analysis

体を構成している

体水分量 (L)	27.3 (27.0 ~ 33.0)
タンパク質量 (kg)	7.2 (7.2 ~ 8.8)
ミネラル量 (kg)	2.54 (2.49 ~ 3.05)
体脂肪量 (kg)	22.1 (10.6 ~ 16.9)
体重 (kg)	59.1 (45.0 ~ 60.8)

*** -0.5kg

筋肉-脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

体重 (kg)	59.1
筋肉量 (kg)	35.1
体脂肪量 (kg)	22.1

肥満指標 Obesity Index Analysis

BMI (kg/m ²)	24.0
体脂肪率 (%)	37.3

部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis

左	1.91 kg	1.99 kg	右	1.6 kg	1.6 kg
左	17.7 kg	標準	右	11.8 kg	高
左	5.15 kg	低	右	3.0 kg	標準
左	5.24 kg	低	右	3.0 kg	標準

体成分履歴

体重 (kg)	65.3	63.9	62.4	61.8	62.3	60.9	60.5	59.1
筋肉量 (kg)	35.6	35.5	35.2	35.2	35.3	35.2	35.3	35.1
体脂肪率 (%)	41.3	40.7	39.2	39.0	39.4	38.6	37.8	37.5

InBody

Website: www.inbody.co.jp

InBody点数 InBody Score

66 / 100 点

体成分の総合点数です。筋肉量だけでなく骨の密度も加味されています。

体組成 Weight Control

適正体重	-52.9 kg
体重調節	-6.2 kg
脂肪調節	-10.0 kg
筋肉調節	+3.8 kg

栄養評価 Nutrition Evaluation

タンパク質量	良好	不足
ミネラル量	良好	不足
体脂肪量	良好	不足

肥満評価 Obesity Evaluation

B M I 標準 低体重 過体重 隠れ肥満

体脂肪率 標準 軽度肥満 肥満

筋肉均衡 Lean Balance

上半身均衡 均衡 中体不均衡 不均衡

下半身均衡 均衡 中体不均衡 不均衡

上下均衡 均衡 中体不均衡 不均衡

内臓脂肪レベル Visceral Fat Level

13

研究項目 Research Parameters

骨格筋量	19.3 kg	(19.5 ~ 23.9)
基礎代謝量	1168 kcal	
腕囲	91 cm	
骨格筋指数(SMI)	5.8 kg/m ²	

運動別消費エネルギー量

ゴルフ	104	ラケットボール	112
ウォーキング	118	ヨガ	118
パドミントン	134	卓球	134
テニス	177	自転車	177
ボクシング	177	バスケットボール	177
山登り	193	縄跳び	207
エアロビクス	207	ジョギング	207
サッカー	207	水泳	207
剣道	295	ラケットボール	295
スカッシュ	295	空手	295

インピーダンス Impedance

右腕	345.0	右腕	358.5	左腕	286.6	左腕	296.0
100mm	322.0	335.5	21.2	273.2	282.6		

水分補給、冬こそ意識を！

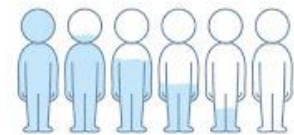
保健管理センター看護師 平木由布

目覚めの一杯、寝る前の一杯。しっかり水分 元気な毎日！
寝る前、起床時、スポーツ中及びその前後、入浴の前後、
のどが渇く前に水分補給を心がけることが重要です。



1. 意識的な水分摂取が重要

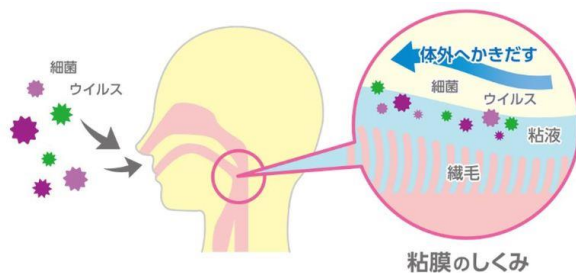
人間の体の約 60%は水分で、毎日食べ物や飲み物から 2~2.5
リットルの水分を摂取し、尿や便、汗などで同じくらいの量の水分
を排出しています。これは季節が変わってもあまり変化があり
ませんので、水分補給の重要性は一年を通して変わらないと言え
ます。よって、冬場は意識的な水分摂取が重要となります。



2. 水分補給は風邪対策の一つ

また、水分補給は風邪症対策の一つでもあります。

粘膜は水分が不足すると十分な能力を発揮できず、ウイルスや細菌などに侵入されやすくなります。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぎ、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。



風邪をひいた場合も、発熱や下痢、嘔吐などによっていつもより水分が体外へ排出されることが多く、脱水症状が起こりやすくなるため、水分補給が大事と言えます。

3. 寒い時期に起こる「かくれ脱水」とは？

もともと空気が乾燥しやすい冬。さらには、使用している暖房器具の影響でさらに湿度が低くなることがあります。このような環境で生活を続けていると、体の表面にある皮膚や粘膜、そして呼気から水分が失われてしまうのです。

気づかぬうちに体内の水分量が減ってしまい、身体機能に不調をきたす恐れのある「かくれ脱水」が起こります。しかも、実は冬こそ、脱水に気づきづらい、まさにかくれた落とし穴があるそうです。

また、冬に流行する風邪や感染症で体調を崩して下痢・嘔吐・発熱などの症状が出た場合も、多くの水分が失われます。このように、体から失われる水分が多いにもかかわらず水分補給を行わないと、脱水が起こるおそれがあります。



加湿も大事！

水分が不足すると、血行が悪くなり冷えにつながったり、血液の粘度が高まり脳卒中や心筋梗塞といった病気のリスクが高くなったりすることも。寒い時期でも体が必要とする水分を積極的に摂り入れて、健康的な生活を続けたいですね。

4. アルコールを摂取する時も

さらに今の時期は、飲酒の機会が多くなります。アルコールには利尿作用があり、お酒を飲んだ以上に尿として水分が出ていってしまうため、飲酒が過ぎると脱水状態になる場合があります。アルコールを分解するためにも水が必要となりますので、アルコールを摂取する時はしっかり補給するようにしましょう。



主催：「健康のため水を飲もう」推進委員会 後援：厚生労働省
「健康のため水を飲もう」推進運動は、全国の健康増進活動により推進され、公衆のサポートにより運営されています。

【引用・参考】厚生労働省 HP 『「健康のため水を飲もう」推進運動』
教えて！「かくれ脱水」委員会 など

ごあいさつ

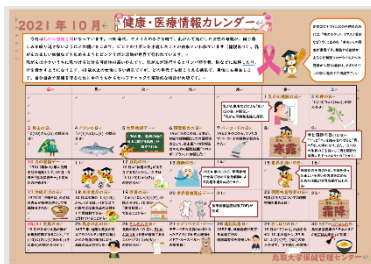
米子分室 妹尾 堯

初めまして、保健師の妹尾堯と申します。県外の病院で看護師として勤務したのち、地域包括支援センターで保健師等の経験を経て、昨年1月から保健管理センター米子分室に勤務しています。入社してからは、新入生・在学生の健康診断、健康相談や健康情報をわかりやすく伝える広報物の作成などを行ってきました。

今回はこれまで作成してきた広報物をご紹介します。

毎月の健康カレンダーの作成

その時期に合わせた健康情報のコラムを書いています。今日は何の日？という情報も掲載していますので、ぜひ読んでみてください。



禁煙ポスターの作成

5月、9月、12月、3月の年4回禁煙勧奨のポスターを作成しています。



新型コロナウイルス感染予防ポスターの作成



今後も新しい健康情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思っております。

保健管理センター米子分室は、学生の健康管理のため平日8:30~17:00まで開所しておりますので、健康や学生生活、私生活などで困りごとや話を聞いてほしい等あれば、看護師が常駐しておりますのでお気軽にお越しください。

新任挨拶

こんにちは、看護師の広富由美と申します。

数十年前の学生生活を思い出しながらまた、移り行く時代も同時に感じながら勤めさせて頂いております。

自己紹介がてら、趣味の一つを紹介致します。

2年程前より自宅近くの低山道でウォーキングをしています。目的は、健康維持と瞑想です。

自然の中で心をフラットにする唯一無二の時間となっています。

気分転換にお勧めします。

学業、サークル活動等で多忙な皆さん心や体の気になる症状があれば気軽に立ち寄って下さい。お待ちしております。

どうぞ宜しくお願い致します。



令和3年度学生健康診断結果について

[鳥取地区]

令和3年度の健康診断は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、新入生健康診断を4月2・5日、在学生の定期健康診断は3密を避けるため日数・時間を拡大し、4月9～21日に実施した。

新入生健康診断は、県外から移動して2週間未満の学生が多数いることを考慮し、健康診断項目の調整を行った。

在学生定期健康診断は、身体計測、血圧、診察（問診）、胸部X線、尿検査の全項目を行った。

新入生・在学生に対し、医師が行う問診・診察では、より細かなスクリーニングを実施し、後日呼出による診察を行うことで、当日の所要時間の短縮に繋がった。

今年度の健康診断の受診率・各項目別受診率は表1～5に示している。受診率は、74.9%（令和2年度67.9%）、胸部X線検査83.0%（令和2年度80.3%）と増加している。その他の項目についても増加がみられた。

二次健診については、新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、5月下旬から各項目別に実施している。二次健診受診率を表6に示している。

血圧・脈拍測定の二次健診では、対象者473人中278人（58.8%）に対し、血圧・脈拍測定・保健指導を行った。

尿検査の二次健診では、対象者85人中34人（40.0%）が受診し、うち一人は三次検査を行い医療機関紹介となった。

BMIについては、BMI27以上の対象者154人中23人（14.9%）、BMI17以下の対象者122人中43人（35.2%）の受診となった。

（保健管理センター看護師 平木由布）

[米子地区]

米子地区の健康診断は、新型コロナウイルス感染第4波の影響により会場規模を拡大したが健診項目は例年通りで行った。新入生健康診断を4月9日、在学生の定期健康診断を4月21日～28日に実施した。米子地区は、医学部医学科1年次以上と医学部生命科学科と保健学科の2年次以上の学部学生と大学院生の1,459人を対象に、学生定期健康診断を実施した。その受診状況を表7、8、9、10、11および図に示す。全員に胸部X線検査、血圧測定と尿検査を実施した。受診率は胸部X線検査の受診率は56.9%（令和2年度50.8%）、尿検査46.3%（令和2年度47.5%）であり、受診率は胸部X線検査が増加、尿検査はわずかに減少した。例年社会人多数在籍するに大学院学生の受験率が低い。

胸部X線検査：間接撮影で要精密検査となったものは、830人中2人（要精検率0.24%）で、精検結果、感染性疾患はなかった。

尿検査：精検該当判定基準は鳥取地区と同基準とした。検査項目別では蛋白精検者4人中、精検受検者は4人であった。潜血精検者9人中、精検受検者は4人であった。糖精検者は3人であった。精検結果、要治療（指導区分D1）のものはなかった。

血圧測定：精検該当判定基準は鳥取地区同基準とした。精検該当者は830人中101人（要精検率12.1%）で、精検受検者は65人であった。測定は1回の測定結果のみ採用しており再検査該当者が多いものと思われる。精検結果、1名を開業医に紹介受診となった。BMIにおける二次健診の該当者は50人（BMI27以上29人、BMI17以下21人）だった。（保健管理センター米子分室看護師 松原典子）

<鳥取地区>

表1.健康診断受診率（令和3年度）

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 共獣	大学院（修士）			大学院（博士）		合計
						持続（地）	持続（工）	持続（農・国）	工（博）	連大・共獣	
対象者数	731	169	1939	913	224	24	398	130	58	109	4695
受診者数	603	164	1320	721	167	17	352	118	14	42	3518
受診率（%）	82.5	97.0	68.1	79.0	74.6	70.8	88.4	90.8	24.1	38.5	74.9

項目別受診率

表2.X線検査受診結果（令和3年度）

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 共獣	大学院（修士）			大学院（博士）		合計
						持続（地）	持続（工）	持続（農・国）	工（博）	連大・共獣	
対象者数	376	169	1020	467	148	24	398	130	58	109	2899
受診者数	330	164	823	413	133	17	352	117	14	42	2405
受診率（%）	87.8	97.0	80.7	88.4	89.9	70.8	88.4	90.0	24.1	38.5	83.0

注）上記に加えて、学部2・3年生の中で、今年度中に実習や海外渡航に行く予定の学生（457人）も胸部X線を実施した。

表3.尿検査受診結果（令和3年度）

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 共獣	大学院（修士）			大学院（博士）		合計
						持続（地）	持続（工）	持続（農・国）	工（博）	連大・共獣	
対象者数	731	169	1939	913	224	24	398	130	58	109	4695
受診者数	578	159	1295	699	166	17	348	115	14	41	3432
受診率（%）	79.1	94.1	66.8	76.6	74.1	70.8	87.4	88.5	24.1	37.6	73.1

表4.血圧測定受診結果（令和3年度）

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 共獣	大学院（修士）			大学院（博士）		合計
						持続（地）	持続（工）	持続（農・国）	工（博）	連大・共獣	
対象者数	731	169	1939	913	224	24	398	130	58	109	4695
受診者数	429		859	501	130	17	352	118	14	42	2462
受診率（%）	58.7		44.3	54.9	58.0	70.8	88.4	90.8	24.1	38.5	52.4

注）各学部新入生については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため血圧測定を取り止めた。

表5.BMI受診結果（令和3年度）

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 共獣	大学院（修士）			大学院（博士）		合計
						持続（地）	持続（工）	持続（農・国）	工（博）	連大・共獣	
対象者数	731	169	1939	913	224	24	398	130	58	109	4695
受診者数	603	164	1320	721	167	17	352	118	14	42	3518
受診率（%）	82.5	97.0	68.1	79.0	74.6	70.8	88.4	90.8	24.1	38.5	74.9

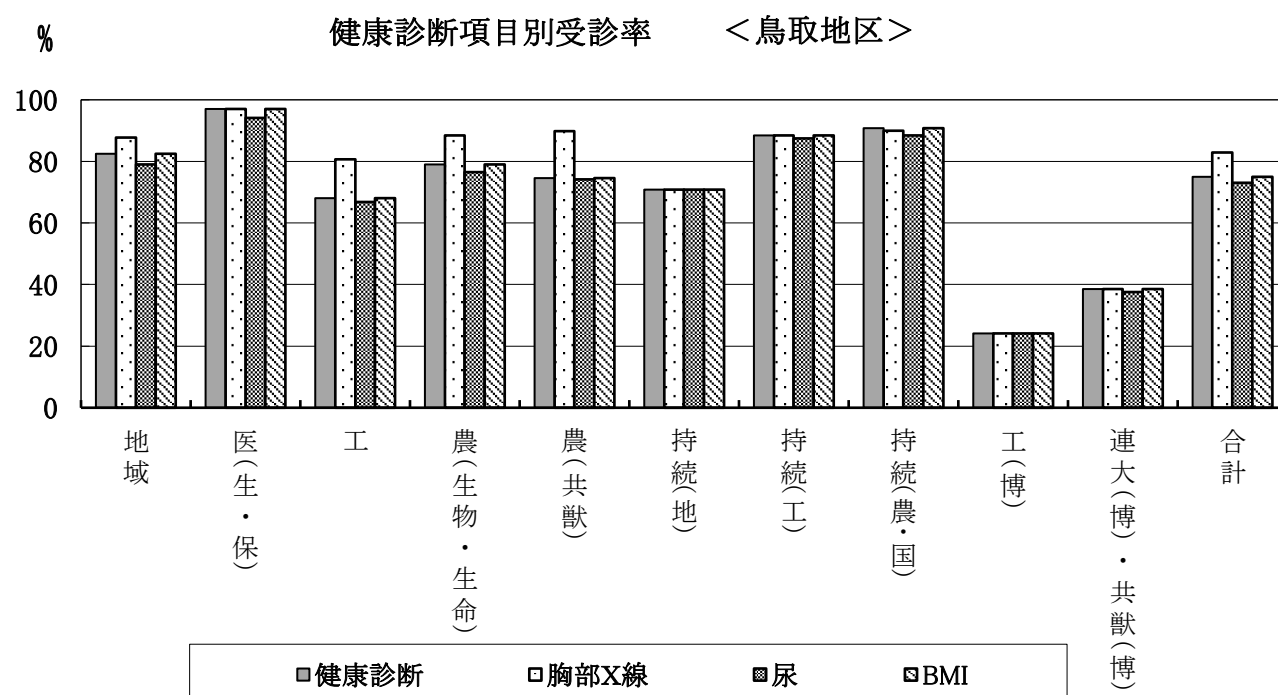


表6 令和3年度健康診断二次健診受診率(鳥取地区)

令和3年12月31日現在

令和3年5月～令和3年1月に実施

健診項目	一次健診 受診者数	呼出した検査数値 所見・症状など	二次健診 対象者数(人)	要精査率(%)	二次健診 受診者数(人)	二次健診 受診率(%)
胸部レントゲン異常	2862	要精密検査	4	0.1%	4	100.0%
問診・診察	3518	所見あり	397	11.3%	113	28.5%
血圧・脈拍	2462	血圧 140/90以上 脈拍 110以上	473	19.2%	278	58.8%
尿検査	3432	糖 +-以上	12		4	
		蛋白 1+以上	33		15	
		潜血 1+以上	40		15	
		計(延べ)	85	2.5%	34	40.0%
BMI	3518	27以上	154	4.4%	23	14.9%
		17以下	122	3.0%	43	35.2%

定期健康診断風景



<米子地区>

表7. 健康診断受診率(令和3年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院（修士）			大学院（博士）					合計
	生命・保健	医	医科学	保健学	臨床心理	医学	医科学	生命科学	機能再生	保健学	
対象者数	502	676	79	4	15	158	9	1	2	13	1,459
受診者数	442	328	43	0	10	6	1	0	0	0	830
受診率	88.0%	48.5%	54.4%	0.0%	66.7%	3.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	56.9%

項目別受診率

表8. X線検査受診結果(令和3年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院（修士）			大学院（博士）					合計
	生命・保健	医	医科学	保健学	臨床心理	医学	医科学	生命科学	機能再生	保健学	
対象者数	502	676	79	4	15	158	9	1	2	13	1,459
受診者数	442	328	43	0	10	6	1	0	0	0	830
受診率	88.0%	48.5%	54.4%	0.0%	66.7%	3.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	56.9%

表9. 尿検査受診結果(令和3年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院（修士）			大学院（博士）					合計
	生命・保健	医	医科学	保健学	臨床心理	医学	医科学	生命科学	機能再生	保健学	
対象者数	502	676	79	4	15	158	9	1	2	13	1,459
受診者数	355	268	36	0	10	6	1	0	0	0	676
受診率	70.7%	39.6%	45.6%	0.0%	66.7%	3.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	46.3%

表10. 血圧測定受診結果(令和3年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院（修士）			大学院（博士）					合計
	生命・保健	医	医科学	保健学	臨床心理	医学	医科学	生命科学	機能再生	保健学	
対象者数	502	676	79	4	15	158	9	1	2	13	1,459
受診者数	442	328	43	0	10	6	1	0	0	0	830
受診率	88.0%	48.5%	54.4%	0.0%	66.7%	3.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	56.9%

表11. BMI測定受診結果(令和3年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院（修士）			大学院（博士）					合計
	生命・保健	医	医科学	保健学	臨床心理	医学	医科学	生命科学	機能再生	保健学	
対象者数	502	676	79	4	15	158	9	1	2	13	1,459
受診者数	442	328	43	0	10	6	1	0	0	0	830
受診率	88.0%	48.5%	54.4%	0.0%	66.7%	3.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	56.9%

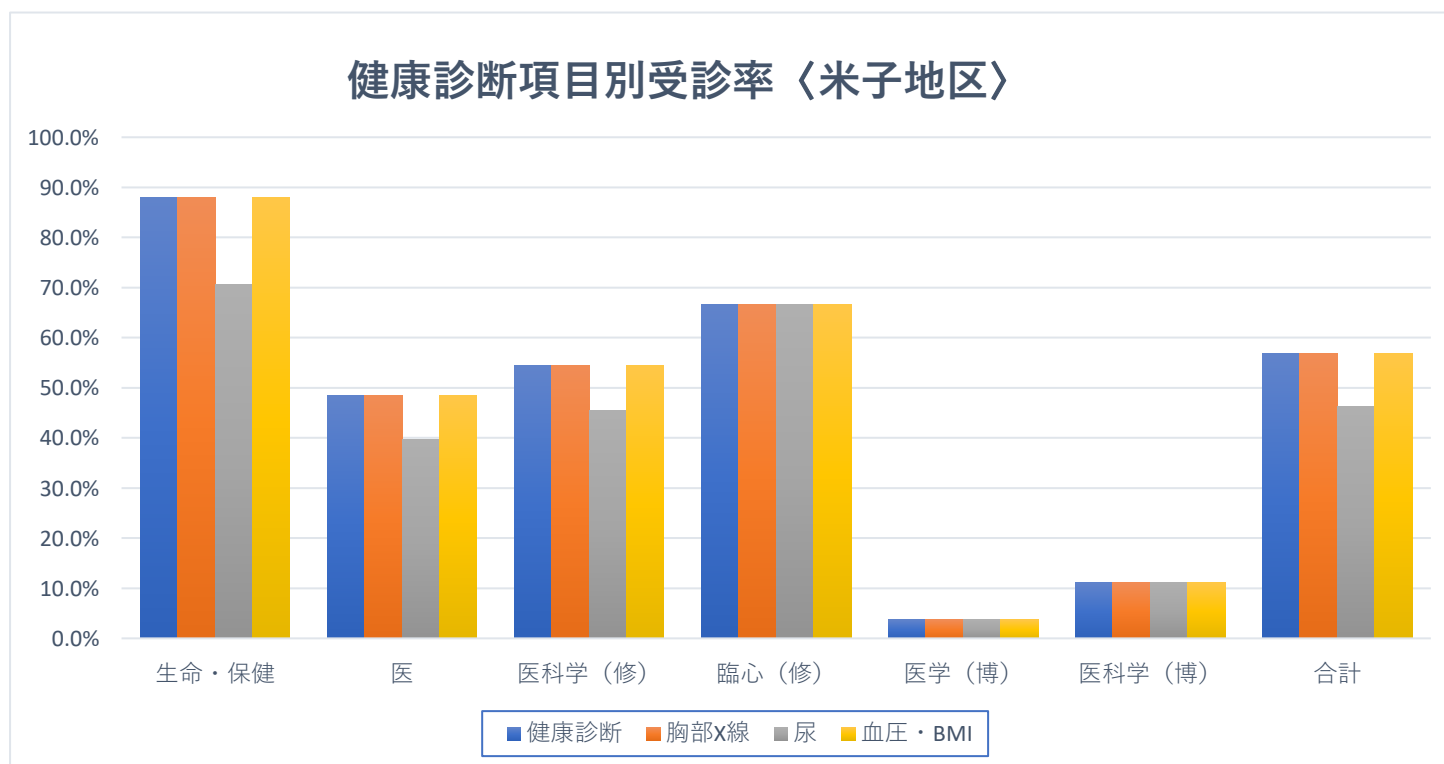


表12. 令和3年度健康診断二次健診受診率（米子地区）

令和3年12月27日現在

令和3年5月～令和3年12月に実施

健診項目	一次健診 受診者数	呼出した検査数値 所見・症状など	二次健診 対象者数（人）	要精査率（%）	二次健診 受診者数（人）	二次健診 受診率（%）
胸部レントゲン異常	830	要精密検査	2	0.24%	2	100%
問診票スクリーニング	830	所見あり	111	13.4%	81	73.0%
診察	830	所見あり	6	0.72%	3	50.0%
血圧・脈拍	830	血圧140/90以上 脈拍110以上	117	14.1%	75	64.1%
尿検査	676	糖 ±以上	3		1	
		蛋白 1+以上	4		3	
		潜血 1+以上	9		8	
		計（延べ）	16	2.37%	12	75.0%
BMI	830	27以上	29	3.49%	12	41.4%
		17以下	21	2.53%	8	38.1%

令和3年度 健康相談集計表(鳥取地区学生)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全体	
診察 相談 治療 指導 等	医師	内科	14	27	24	11	5	5	5	91	
		外科・整形	2	5	6	4	0	2	4	23	
		耳鼻咽喉科	1	2	1	2	0	2	0	8	
		皮膚科	1	5	8	3	2	0	2	21	
		アレルギー	6	4	4	3	0	1	0	18	
		脳神経	2	5	4	0	0	0	0	11	
		産婦人科	3	9	14	1	1	1	3	32	
		その他	0	2	2	4	9	3	1	21	
精神	8	13	30	12	4	3	7	77			
相談・支援等	カウンセラー	カウンセリング	30	76	89	70	53	54	73	445	
相談 ケア 指導 等	保健師 看護師	急患・時間外	3	2	6	4	1	2	4	22	
		病院案内	7	12	19	20	8	8	20	94	
		予約・インテーク	8	14	43	27	2	11	17	122	
		相談・ケア・指導	59	89	445	407	128	172	353	1,653	
		休養室	6	4	18	7	1	7	4	47	
		予防接種・抗体価等	1	113	44	11	0	18	21	208	
		救急バッグ等貸し出し	0	0	0	1	0	0	3	4	
合計			151	382	757	587	214	289	517	2,897	
電話・メール対応			合計	196	119	223	210	93	144	175	1,160
健康 診断	新入生 定期健康診断	一次	3,712	0	0	0	0	1	0	3,713	
		二次	29	33	194	10	26	6	1	299	
	特殊健康診断	留学生	0	0	0	0	0	0	0	0	
		Tspot	0	0	28	97	0	0	0	125	
		RI	48	21	0	0	0	1	0	70	
		有機溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			3,789	54	222	107	26	8	1	4,207	
検査	血压	2,472	30	168	97	4	5	3	2,779		
	尿	3,430	4	4	8	23	2	0	3,471		
	血液	0	21	28	97	0	0	0	146		
	計測	3,518	8	47	8	1	19	7	3,608		
	心電図	2	4	4	0	0	1	1	12		
	酸素飽和度	1	0	18	9	0	1	0	29		
	骨量	0	0	0	0	0	0	0	0		
	パッチテスト	0	0	0	0	0	0	161	161		
	XP	2862	0	0	0	0	0	0	2,862		
	心理	1	0	0	0	1	0	0	2		
その他	0	3	5	91	0	1	0	100			
合計			12,286	70	274	310	29	29	172	13,170	
治療等	内服・外用	3	8	17	16	4	7	6	61		
	注射	0	0	0	0	0	0	0	0		
	処置	12	9	16	19	4	7	21	88		
	紹介状等	3	13	11	8	0	5	2	42		
	その他	0	0	12	0	0	0	1	13		
合計			18	30	56	43	8	19	30	204	
健康診断証明書	センター発行 枚数	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発行機 枚数	0	173	177	123	57	50	39	619		
合計			0	173	177	123	57	50	39	619	
学生教育研究 災害障害保健 に係る業務	加入説明	35	29	34	65	35	53	37	288		
	事故対応	0	4	17	14	6	9	22	72		
	証明書発行	1	7	13	48	31	6	6	112		
合計			36	40	64	127	72	68	65	472	

令和3年度 健康相談集計表(鳥取地区職員)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全体
診察 相談 治療 指導 等	医師	内科	1	2	0	1	10	0	1	15
		外科・整形	0	0	1	1	0	2	0	4
		耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0
		皮膚科	0	0	0	1	0	0	1	2
		アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0
		脳神経	0	0	0	0	0	0	0	0
		産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	16	24	24	11	26	60	29	190
		精神	2	0	0	0	0	0	0	2
相談 ケア 指導 等	保健師 看護師	急患・時間外	0	1	0	1	0	1	0	3
		病院案内	0	0	0	0	0	0	3	3
		予約・インテーク	0	0	0	0	0	0	1	1
		相談・ケア・指導	0	2	2	34	3	10	12	63
		休養室	0	0	0	3	2	0	1	6
		予防接種・抗体価等	0	0	0	0	0	0	0	0
		救急バッグ等貸し出し	0	0	0	1	0	0	7	8
合計			19	29	27	53	41	73	55	297
電話・メール対応	合計	13	13	3	10	10	7	11	67	
検査	血压	1	1	0	0	0	0	0	2	
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	
	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計測	0	0	0	0	0	7	0	7	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	
	酸素飽和度	1	1	0	0	0	0	0	2	
	骨量	0	0	0	0	0	32	2	34	
	パッチテスト	0	0	0	0	0	2	0	2	
	XP	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心理	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	25	0	0	0	26	
合計			2	3	0	25	0	41	2	73
治療等	内服・外用	0	1	1	3	0	1	3	9	
	注射	0	0	0	0	0	0	0	0	
	処置	0	0	0	22	0	3	13	38	
	紹介状等	0	0	0	0	0	0	3	3	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			0	1	1	25	0	4	19	50

令和3年度 健康相談集計表(米子地区学生)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全体	
診察 相談 治療 指導 等	医師	内科	0	3	7	2	4	0	5	21	
		外科・整形	2	3	1	0	2	0	1	9	
		耳鼻咽喉科	0	2	3	0	0	0	0	5	
		皮膚科	1	2	2	1	0	0	0	6	
		アレルギー	0	0	4	3	0	0	0	7	
		脳神経	0	2	2	2	1	1	2	10	
		産婦人科	0	0	0	1	0	0	0	1	
		その他	1	2	2	5	1	0	0	11	
		精神	2	1	1	7	1	1	4	17	
相談・支援等	カウンセラー	カウンセリング	18	31	27	20	22	19	23	160	
相談 ケア 指導 等	保健師 看護師	急患・時間外	1	0	1	1	1	0	0	4	
		病院案内	7	3	3	8	3	2	1	27	
		予約・インテーク	19	34	26	27	23	22	24	175	
		相談・ケア・指導	31	28	41	32	8	9	17	166	
		休養室	4	2	10	10	2	2	16	46	
		予防接種・抗体価等	69	30	30	27	3	10	46	215	
		救急バッグ等貸し出し	2	0	0	4	0	0	0	6	
合計			157	143	160	150	71	66	139	886	
電話・メール対応			合計	55	28	39	68	14	18	23	245
健康 診断	新入生 定期健康診断	一次	829	0	0	0	0	0	0	829	
		二次	2	7	80	23	5	1	0	118	
	特殊健康診断	留学生	0	0	0	0	0	0	0	0	
		Tspot	0	0	26	115	0	0	0	141	
		RI	0	0	0	2	0	0	0	2	
		有機溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			831	7	106	140	5	1	0	1,090	
検査	検査		血圧	835	7	64	25	3	4	14	952
			尿	669	125	10	1	1	0	0	806
			血液	0	0	26	117	3	0	0	146
			計測	863	64	76	66	25	28	77	1,199
			心電図	0	0	0	0	0	0	0	0
			酸素飽和度	0	2	4	1	0	5	23	35
			骨量	0	0	0	0	0	0	1	1
			パッチテスト	0	0	0	0	0	0	0	0
			XP	828	0	0	0	0	0	0	828
			心理	0	1	0	0	0	0	1	2
		その他	0	0	0	3	5	1	0	9	
合計			3,195	199	180	213	37	38	116	3,978	
治療等	治療等		内服・外用	0	4	5	5	4	1	8	27
			注射	0	0	2	0	0	0	0	2
			処置	4	4	2	0	0	0	1	11
			紹介状等	0	3	2	2	1	1	1	10
			その他	2	0	0	0	0	0	0	2
合計			6	11	11	7	5	2	10	52	
健康診断証明書	センター発行	枚数	9	5	27	12	7	3	0	63	
	発行機	枚数	0	16	67	126	28	13	2	252	
合計			9	21	94	138	35	16	2	315	
学生教育研究 災害障害保健 に係る業務	加入説明		0	0	0	0	0	0	0	0	
	事故対応		0	0	0	0	0	0	0	0	
	証明書発行		0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	

令和3年度 健康相談集計表(米子地区職員)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全体	
診察 相談 治療 指導 等	医師	内科	0	1	0	0	0	0	1	2
		外科・整形	0	1	0	0	1	0	0	2
		耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	1	0	1
		皮膚科	0	0	1	0	0	0	0	1
		アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0
		脳神経	0	0	0	0	0	0	0	0
		産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	2	0	0	0	0	0	0	2
		精神	3	0	2	1	6	3	3	18
相談 ケア 指導 等	保健師 看護師	急患・時間外	0	0	0	0	0	0	0	0
		病院案内	0	0	0	0	0	0	1	1
		予約・インテーク	3	5	1	1	6	3	2	21
		相談・ケア・指導	4	2	5	3	5	6	3	28
		休養室	0	0	0	0	0	1	5	6
		予防接種・抗体価等	0	0	0	0	0	0	1	1
		救急バッグ等貸し出し	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		13	9	9	5	18	14	16	84	
電話・メール対応	合計	0	0	7	10	6	3	8	34	
検査	血压	0	0	0	0	0	1	0	1	
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	
	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計測	0	3	2	0	5	1	1	12	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	
	酸素飽和度	0	0	0	0	0	2	0	2	
	骨量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パッチテスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	XP	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心理	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	0	0	0	0	1	
合計		0	4	2	0	5	4	1	16	
治療等	内服・外用	0	2	0	0	1	0	1	4	
	注射	0	0	0	0	0	1	0	1	
	処置	0	0	1	0	0	0	0	1	
	紹介状等	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	2	1	0	1	1	1	6	

鳥取大学新型コロナウイルスワクチン職域接種について

所長 三島 香津子

鳥取大学は、職域での新型コロナウイルスワクチン接種を実施する政府の方針を受け、職域接種を実施しました。鳥取地区接種では、保健管理センター教職員は医師・看護師を中心に、総務企画部と共に準備段階から参画し、接種当日は、シリンジ補填・問診・接種・経過観察に従事しました。米子地区・医学部附属病院からは、助言と共に1期接種に連日多くの医師・看護師・薬剤師を派遣いただきました。また、乾燥地研究センターからは医師大谷准教授に協力いただきました。さらに、鳥取県医師会から複数の医師を派遣していただきました。

結果、鳥取地区では、学生・教職員及びその家族・県教育委員会関係者を対象に8,591回の接種を行い（表1）、鳥取地区学生は2,954名が接種しました（職域接種による学生接種率は62.93%）。

接種当日に救護対応を必要とした者は、多くが緊張による気分不良（主に血管迷走神経反射）でした（表2）。アレルギー反応が疑われた者を数名認めましたが、アナフィラキシー等重大な副反応や医療機関への搬送を必要とした者は認めませんでした。保健管理センターでは、ワクチンに関する正しい知識を周知し不安を和らげるために、独自のQ&Aを作成しました。また、看護師が、救護対応を必要とした者には翌日も連絡を取るなど、経過観察を継続して行いました。

【鳥取地区ワクチン接種期間】

- 1期（11日間×2） 1回目；令和3年7月20～26日、7月29日～8月1日
2回目；令和3年8月17～23日、26日～29日
- 2期（2日間×2+1日） 1回目・1期2回目未接種者；9月6・10日
2回目・1期2回目未接種者；10月4・8・15日

表1 ワクチン接種数

鳥取地区	1回目	2回目	合計	2回目未接種
1期	4,225	4,169	8,394	35
2期		21	21	(学内29)
	88	88	176	0
計	4,313	4,278	8,591	35

表2 接種時対応内訳

救護室 ¹⁾ (対象8,591名)	救護室観察	172名
	%	2.00%
	救護対応	107名
	%	1.25%
30分観察 ²⁾ (対象7,466名)	該当者	254名
	%	3.40%
予診のみ (対象8,607名)	該当者	16名
	%	0.19%

1) 救護対応は、症状を有し実際に救護対応を行ったもの。救護室観察は、1回目接種時に救護室対応を行い2回目接種時は症状がなくとも救護室観察をしたものなど、予防的に救護室で観察を行ったものを含む。

2) 30分観察者数は、1期1回目途中からカウントしたため、対象者数が総接種数より少なくなっている。

学生教育研究災害傷害保険

管理センター看護師 平木由布
事務係 小川弘二

令和3年度 保険金請求

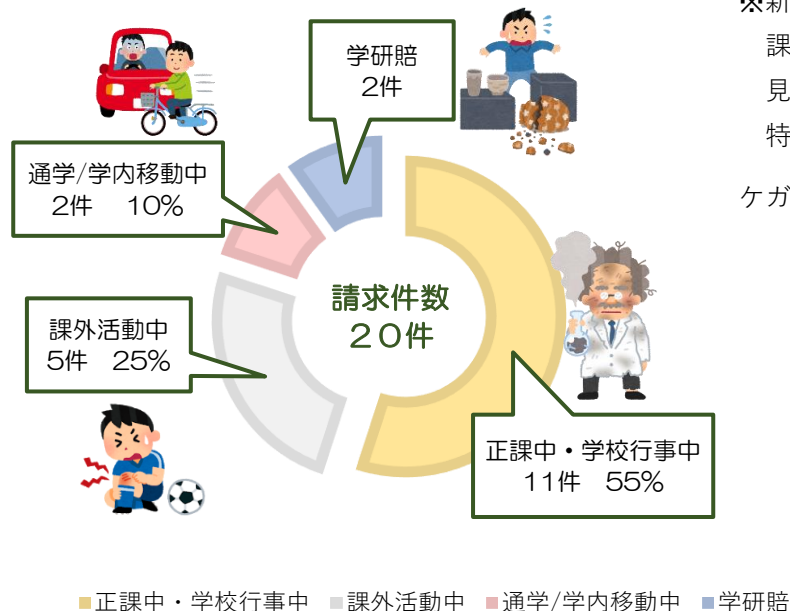
	正課中・学校行事中
	通学中・学校施設内
	課外活動中
	学研賠

【 学研災 】

No	発生区分	所属	病名	入院	治療日数	保険金 (円)
1	正課中 (その他)	医学部	右眼角膜損傷		1	3,000
2	学校施設間移動中	医学部	腰部捻挫・背中打撲		7	15,000
3	課外活動 (テニス)	工学部	右足首骨折		15	30,000
4	通学中	農学部	右足首、両膝、左肘、頭部 打撲・擦過傷		6	6,000
5	正課中 (その他)	連合農学研究科	左腕骨折		8	15,000
6	正課中 (理系実験実習)	持続性社会創生科学研究科	左示指虫刺症		2	3,000
7	正課中 (バスケットボール)	工学部	肩脱臼		3	3,000
8	正課中 (ソフトボール)	農学部	左膝内側側副靭帯損傷		5	6,000
9	課外活動 (ハンドボール)	地域学部	左足靭帯損傷		20	30,000
10	正課中 (その他)	農学部	左目炎症		1	3,000
11	課外活動 (バスケットボール)	地域学部	腰椎椎間板ヘルニア		18	請求中
12	正課中 (理系実験実習)	持続性社会創生科学研究科	右手薬指爪剥離		1	3,000
13	正課中 (理系実験実習)	工学部	左目異物混入		1	3,000
14	正課中 (理系実験実習)	持続性社会創生科学研究科	左示指打撲		3	3,000
15	正課中 (理系実験実習)	農学部	両腕及び両足熱傷		7	請求中
16	課外活動 (合気道)	農学部	左膝前十字靭帯損傷		51	請求中
17	正課中 (医療実習)	医学部	針刺し事故 (血液暴露)		2	請求中
18	課外活動 (バスケットボール)	医学部	右上腕骨遠位端骨折、右肘関節骨折ほか	3	20 (継続)	請求中

【 学研賠 】

No	発生区分	所属	事故内容	保険金 (円)
1	正課中 (理系実験実習)	農学部	実験機材破損	請求中
2	正課中 (学外: 理系研究活動)	農学部	研究機材 (ドローン) 破損	請求中



※この請求内容は令和3年12月末現在のものです。
 ※新型コロナウイルス感染症対応に伴う学校行事・課外活動緩和による事故発生件数の増加傾向が見られます。
 特に実験実習中のケガ、事故が増加しています。
 ケガのない健康的な学生生活を心がけましょう！



ケガをされた場合は、
 早めに保健管理センターへ
 届け出るようにしましょう！

学生教育研究災害傷害保険（学研災）・付帯賠償責任保険（学研賠）加入状況

保健管理センター看護師 平木 由布
事務係 小川 弘二

令和3年度

※12月末現在

所属	地域学部		医学部		工学部		農学部		持続性社会創 生科学研究科		医学系研究科		工学研究科		共同獣医学 研究科		連合農学研究 科		付属教育研究 施設等		計
	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	
4月	177	53	273	93	459	135	256	255	281	90	58	15	15	1	2	2	13	6			2,184
5月		6		1	8	7			3	3											28
6月		1			2	2									1	1	1				8
7月	2	4	1	1	3	7				2	1						2				23
8月		9			2	1	1	1		6							1				21
9月	1		1			1	1		3	2	1		3				8				21
10月	4					2			5				2				2		3		18
11月	1				2	1	1	1	7						1	1	7		3		25
12月		2								1											3
1月																					0
2月																					0
3月																					0
計	185	75	275	95	476	156	259	257	299	104	60	15	20	1	4	4	34	6	6	0	2,331

令和2年度

所属	地域学部		医学部		工学部		農学部		持続性社会創 生科学研究科		医学系研究科		工学研究科		共同獣医学 研究科		連合農学研究 科		付属教育研究 施設等		計
	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	学研災	学研賠	
4月 ～ 6月	188	90	268	75	482	109	262	265	246	68	46	21	10	1	5	3	15	4			2,158
7月		1			1	3		1		4											10
8月	1	3						1		1	1										7
9月	2	4				1			3				3				8				21
10月	2		2	2		1		1	6	1							2		2		19
11月	1						1		3												5
12月	1					1	1		2				1				1				7
1月	2					1															3
2月						2		1													3
3月						1															1
計	197	98	270	77	483	119	264	269	260	74	47	21	14	1	5	3	26	4	2	0	2,234

※4月～6月は、日本国際教育支援協会のシステム変更によりまとめて加入手続きを行った。



鳥取大学保健管理センターHP

主に、心身の不安や健康に関する相談に、保健師・看護師、カウンセラーや医師が対応しています。HPでは、健康に関する情報や周辺の医療機関の情報、新型コロナウイルスに関する情報などを随時更新し、掲載しています。来所・電話での相談の他、HPにお問い合わせフォームがありますのでお気軽にご相談ください。

詳しくは「鳥取大学保健管理センター」で検索、もしくはこちらのQRコードを読み取って下さい



鳥取大学学生支援センターHP

学習・生活・進路のこと等のなんでも相談や、障がい学生支援、課外活動支援、経済的支援への相談・案内・対応を行っています。

詳しくは「鳥取大学学生支援センター」で検索、もしくはこちらのQRコードを読み取って下さい



鳥取県のLINE相談

学校・仕事・人間関係に関する悩みなど、どんな悩みにも、相談員が相談に応じています。

こちらのQRコードを読み取り、お友達登録すると気軽に相談できます



鳥取—新型コロナ対策パーソナルサポート

アンケートにおいて体調や年齢、居住地などを入力すると、あなたの状態に合った情報を提供します（相談センターへの連絡の必要性、あなたに必要な対策や最新の情報など）。

こちらの QR コードを読み取り、お友達登録すると個々に合わせた新型コロナ対策情報を提供してくれます



厚生労働省による電話相談

新型コロナウイルス感染症に関して、以下の相談窓口が開設されています。

◆新型コロナウイルス感染症相談窓口

電話番号：0120-565-653（フリーダイヤル）

<受付時間：下記参照（土日・祝日も実施）>

日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語：9：00～21：00

タイ語：9：00～18：00

ベトナム語：9：00～19：00

◆新型コロナワクチンコールセンター

電話番号：0120-761-770（フリーダイヤル）

<受付時間：9：00～21：00（土日・祝日も実施）>

鳥取大学内の相談窓口は、その他にも、ダイバーシティキャンパス推進室、ハラスメント相談員、さらに学生の皆さんには、キャリアセンター、学級教員、学生相談員等沢山の窓口があります。気になる事や悩み事がある時は、一人で抱え込まず、これらの窓口を活用してください。



保健管理センターだより NO. 52

令和4年2月

編集発行 鳥取大学保健管理センター
〒680-0945 鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL 0857-31-5065
FAX 0857-31-5565
メール: hokekan@ml.adm.tottori-u.ac.jp